



第65回通常総会	2
役員就任挨拶	3
新規就農者激励会	
酪農部会定期総会	4
青年部定期総会	
種子馬鈴薯部会定期総会	5
肉牛部会定期総会	
農民連盟定期総会	6
年金友の会定期総会	
第42回南十勝ブラックアンドホワイトショウ	7
第16回広尾町ジュニアホルスタインショウ	8
第18回乳牛ジャッジングコンテスト	9
アルーダ十勝中古農機常設展示場オープンフェア開催 エゾ鹿一斉駆除	10
第三者継承事例講習	

女性部春期講習会	11
すみれ会健康づくり講習会	
外国人技能実習生送別会	12
外国人技能実習生歓迎会	
酪友会婦人研修会	13
3団体女性部料理交流会	
TPP反対十勝大会	14
退職挨拶	
理事会報告	15
理事会報告	16
人事異動	
新規職員紹介	
表紙インタビュー・占い	17
農業政策・価格要請運動報告	18

第65回 通常総会開催される

4月23日、JAひろお第65回通常総会が広尾町農村環境改善センターで開催されました。

来賓として、広尾町長を始め、各系統連合会や関係機関などのご臨席をいただき、出席者全員によるJA綱領を朗唱後、萬亀山組合長の挨拶で開会いたしました。

広尾町長 村瀬優氏、系統連合会を代表して全共連北海道本部帯広支所長 山脇剛氏よりご祝辞をいただき、続いて出席者の中から大森康雄さん、北藤敦博さんが議長に選出され議事に入りました。

議事では、平成24年度事業報告、収支決算報告や平成25年度事業計画および



び収支予算案などが事務局より説明され、出席された組合員皆さんは熱心に聞き入り、議長のスムーズな議事進行と組合員の皆さんのご協力により提出議案はすべて承認され、終了しました。総会開催前には、平成24年度広尾町農業振興共励会褒賞授与式が行われ、各部門における最優秀賞および優秀賞受賞者が表彰され、併せて2012北海道ホルスタインショナルショウ（ジャージー種）においてシニアチャンピオンを獲得された川崎正幸さん、2012北海道ブラックアンドホワイトシヨウ（乳用牛の部）、2012ホルスタインショナルシヨウ（ジャージー種）においてジュニアチャンピオンを獲得された佐藤孝一さんと、英国王立園芸協会日本支部の提携ガーデンに認定された仰十勝大森牧場さんに特別奨励賞が授与されました。また、平成24年度新規就農者激励状が新規に就農された、4名の方々に授与されました。

獲得された佐藤孝一さんと、英国王立園芸協会日本支部の提携ガーデンに認定された仰十勝大森牧場さんに特別奨励賞が授与されました。また、平成24年度新規就農者激励状が新規に就農された、4名の方々に授与されました。

就任のご挨拶



理事 江崎 雅浩

組合員の皆様には、4月中旬から5月初旬にかけての降雨や低温などの天候不順によって春耕作業が大幅に遅れ、非常に気ぜわしい日々をお過ごしのことと存じますが、今後の天候の回復によってそれぞれの作物が支障なく生育し豊稔の秋を迎えられますよう心よりご祈念申し上げます。

さて、私こと、去る4月23日開催の第65回通常総会において理事として選任いただき、同日就任いたしました。もとより浅学非才の身であり、理事として重責を担い組合員の皆様の負託に応えられるかどうか不安ではあります。粉骨砕身の覚悟で組合員皆様の経営安定化と本町農業の持続的発展を目指して微力ながら取り組んで参る所存でありますので、ご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

現在、我が国の農業を取り巻く環境は、安倍首相のTPP（環太平洋連携

協定）交渉への参加表明以降、非常に大きな影響が予想される北海道農業にとつては決して容認できるものではないとして、断固反対の取り組みを強力に押し進めているところではあります。が、今後の動向によっては抜き差しならない状況も懸念されているところですので。

また、飼料をはじめとする生産資材価格の高騰が生産コストを押し上げ、更に最近の円安の進行によって拍車がかかる状況となっており、農業経営にとつて非常に厳しい状況が続くと予想されます。

このような状況のなか、今こそ組合員とJA役職員が一致団結し、それぞれの英知を振り絞って積極的に山積する諸課題に取り組み、本町農業の担い手が将来に向けて希望がもてる農業の実現を目指して努力していかねばならないものと痛感しております。

この度の理事就任をひとつの契機として、組合員皆様のご理解とご協力をいただきながら、他の役職員と力を合わせてJAの本来あるべき姿を念頭に置きながら、誠心誠意職務を全うして参りたいと考えておりますので宜しくお願い申し上げます。



第65回 通常総会



広尾町農業振興共励会褒賞受賞者

- 〇酪農経営改善の部
 - 最優秀賞 久保 進
 - 優秀賞 北藤 敦博 (仰 山本 牧場)
 - 〇乳質改善の部
 - 最優秀賞 成田 芳樹
 - 優秀賞 末広 博行・広瀬 孝雄 (北藤 敦博・久保 進)
- 〇特別奨励賞
 - 川崎 正幸 (仰 十勝大森 牧場)
 - 佐藤 孝一
- 平成24年度新規就農者
 - 尾崎 健次
 - 横井 豪太
 - 山川 幸吉・目黒 富夫 (株)マドリン・山本 等
 - 山口 潤一
 - 坂本 周太郎

新規就農者激励会



2月21日、広尾町農業担い手育成センター主催による「平成24年度新規就農者激励の集い」が、本年度新たに就農された尾崎健次さん(東豊似農事組合)、久保昌弘さん(中豊似農事組合)、横井豪太さん(中豊似農事組合)、坂本周太郎さん(楽古農事組合)を招き町内の「一広亭」で行われました。本年度就農した4人の経歴等の紹介に続き、村瀬町長、新海敏春農業委員会会長、萬亀山組合長から「TPPなどの問題はありますが、若い力で広尾町の農業を引っ張ってほしい」とそれぞれ激励の言葉をいただき、就農された方々からは「早く一人前になり、たくさん牛乳を搾り広尾町の農業に貢献したい」などと決意を述べられました。その後、昼食をとりながら懇談し激励会を終了いたしました。

酪農部会定期総会

4月11日、第22回広尾町農協酪農部会定期総会が広尾町農村環境改善センターにて開催されました。

開会に先立ち北藤敦博部会長から挨拶があり、昨年度の活動概要や今年度

計画している事業について説明がありました。

上野潤副部会長が議長を務め、提出された平成24年度の事業報告と収支決算、平成25年度の事業計画と収支予算案などの議案は全て承認されました。



昨年度の生乳生産は、搾乳中止酪農家が6戸あったにもかかわらず、年度当初から前年を大きく上回って推移し、9月以降にはTMRセンターの稼働や規模拡大による乳牛導入もあり、厳しい生産環境の中で前年比102%を上回る実績で、5万3千2百トンを生産する事ができました。これもひとえに部会員の日頃の努力の成果であると報告がありました。

酪農部会では、今年度も良質乳生産と安定した酪農経営を目指し、各種研修会に参加すると共に、近年管内でも猛威を振るっているマイコプラズマ性乳房炎撲滅に向けた取り組みを計画しています。

JAひろお青年部

第35回定期総会開催される

2月27日、広尾町農村環境改善センターにおいて第35回JAひろお青年部定期総会が開催されました。

岡田純一部長の開会挨拶の後、来賓の萬亀山組合長、野田副町長、吉澤十勝地区青年部協議会理事(現参与)よりご祝辞をいただき議事に入りました。

議事では、平成24年度事業報告・収支決算及び平成25年度事業計画・収支予算案について説明があり、今年度の事業として、昨年からの取り組みである食育活動、農薬空容器の回収など環境に優しい農業の推進、各種団体との交流や町内行事への参加、牛乳や乳製品の消費拡大キャンペーンの協力、十勝地区農協青年部協議会の行事参加による各JA青年部の意見交換、研修会・勉強会の開催など



ど営農技術向上や部の活性化に伴う議案が提出されすべて承認されました。最後に渡部広樹副部長の閉会挨拶があり、定期総会が終了しました。

第51回 広尾町農協種子馬鈴薯部会定期総会開催される

～36年の歴史に幕を閉じる～

4月5日、広尾町農村環境改善センターにおいて第51回広尾町農協種子馬鈴薯部会定期総会が行われました。松木昭吉部会長の挨拶の後、議事に入り平成24年度の事業報告・収支決算報告、残余金の処分について提起され全て承認されました。

現在の種子馬鈴薯部会は、種子馬鈴薯栽培団地相互の連絡調整と栽培技術の向上を図る事を目的に昭和51年に発足し、約75haを作付していました。選別機を併置した馬鈴薯貯蔵施設が豊似に設置されたことで、

作付面積や生産高が飛躍的に伸び、ポテトハーベスターやスプレーヤなど17台の機械が導入され、ピーク時の昭和61年は、作付面積が117haに上りました。しかし、その後は変化が著しい農業情勢の中で、産地間競争と国際化に耐えうる足腰の強い経営を目指してきましたが、耕作者の高齢化や後継者不足などから年々面積は減少し、近年は5戸の部会員で活動してきました。

この度4戸の部会員が種子馬鈴薯の作付けを終了することから平成24年度をもって部会を解散することとなりました。



第22回 広尾町農協肉牛部会定期総会

3月8日、広尾町農協肉牛部会の第22回定期総会が、広尾町農村環境改善センターにて開催されました。

門馬直志部会長の挨拶の後、部会長が議長を務め議事に入り、平成24年度事業報告・収支決算報告と、平成25年度事業計画および収支

予算案が提出され、また、役員改選では、門馬部会長が再任され、全ての議案が承認されました。最後に門馬部会長の閉会挨拶があり、定期総会を終了しました。

なお、役員は次のとおりです。

- | | |
|------|------|
| 部会長 | 門馬直志 |
| 副部会長 | 佐藤哲也 |
| 理事 | 末広博行 |
| 理事 | 北藤和利 |
| 理事 | 杉本信 |
| 理事 | 角倉光記 |
| 理事 | 森田誠 |
| 監事 | 竹山一夫 |

第42回 南十勝ブラックアンドホワイトショウ



4月25日、南十勝ブラックアンドホワイトショウが、大樹町家畜共進会場において審査員に北見市酪農家上野元一氏を招き行なわれました。

本町からは、caw with a mission、広瀬康史牧場、山本勝己牧場、佐藤孝一牧場、久保進牧場の5戸から出品があり、佐藤孝一牧場のKCF BB アツトウツド スリック号が第4部未経産ジュニアクラスで1位となり、チャンピオン決定戦において未経産部門でリザーブチャンピオンを獲得しました。

なお、出品牛の主な成績は次の通りです。



南十勝ブラックアンドホワイトショウの主な成績

クラス	順位	名 号	出品者
育成ミドル	1位	ドラマチック スカイツリー	佐藤 孝一牧場
育成シニア	2位	ウイナーマイン アーネスト J ブラックス	山本 勝己牧場
	5位	TMF レナーグリーン GW ファステイ デブラ ET	caw with a mission
未経産ジュニア	1位	KCF BB アツトウツド スリック	佐藤 孝一牧場
	4位	レデイスマナー G キャンデイス ティアラ ET	佐藤 孝一牧場
未経産シニア	1位	TMF セプテニー チーズ アトウッド フォーゼ ET	佐藤 孝一牧場
2歳経産シニア	5位	キューバ テンプター スクリーチ	久保 進牧場
3歳シニア	6位	キューバ テンプター スクリーチ	広瀬 康史牧場

第44回 広尾町農民連盟 定期総会開催される

4月12日、広尾町農民連盟の第44回定期総会が、広尾町農村環境改善センターで行われました。



当日は盟友・来賓を含め38名が参加し、綱領朗唱の後、佐々木嘉行執行委員長より開催挨拶があり、引き続き来賓の村瀬町長、大庭参事、全十勝地区農民連盟下坂副委員長からのご祝辞の後、紋別農事組合岡本宏さんが議長に選出され、議事に入りました。

議事では、平成24年度運動報告・収支決算、平成25年度運動方針・収支予算案などを可決した後「TTPP交渉参加断固反対、真の農政確立を求める」特別決議を全員一致で採択され、総会が終了しました。

年金の会

第19回 定期総会開催される

鯖江会長 再任

4月25日、第19回広尾町農協年金友の会定期総会が広尾町農村環境改善センターで開催されました。開会に先立ち鯖江義信会長より挨拶があり、昨年度の活動概要や今年度計画している各種事業について触れながら、日頃より農協・会員の方々からの当会の活動に対する協力への感謝の言葉が述べられました。



提出された平成24年度事業実施報告と収支決算、平成25年度事業計画と収支予算案などの議案は全て承認され、今年度も親睦旅行や観劇温泉湯治などの行事が実施されることとなりました。

また、任期満了に伴う役員改選の結果、鯖江会長以下全役員が再選されました。

総会終了後、広尾警察署豊似駐在所の前田巡査を講師に振り込め詐欺に関する研修会が行われ、不審な電話が掛かってきても一人で判断せずに家族や

警察に必ず相談するようにと注意を呼び掛け、参加者は真剣に聞いていました。

その後、懇親会ではテーブル対抗輪投げ大会などで大いに盛り上がり、親睦を深める1日となりました。